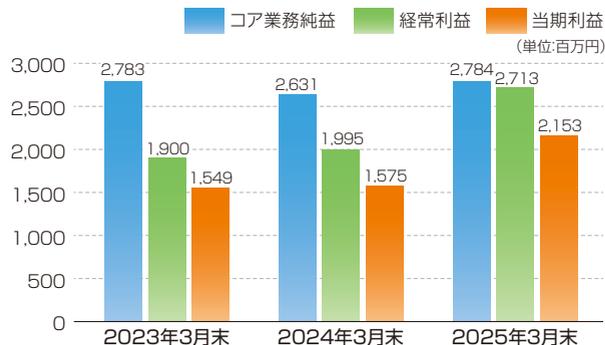


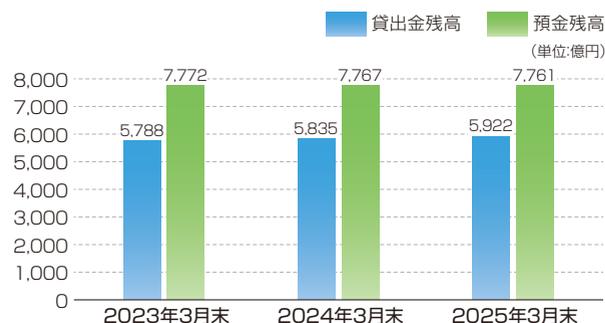
業績ハイライト(単体)

2025年3月期

コア業務純益・経常利益・当期利益



貸出金残高・預金残高



コアOHR



自己資本比率



当行の概要

(2025年3月末現在)

名称 株式会社 南日本銀行
本店所在地 鹿児島県鹿児島市山下町1番1号
創業 1913(大正2)年9月4日
資本金 133億5100万円
店舗数 本支店64カ店
(本支店61、出張所3)
※フランチャイズ・フランチャ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実質店舗数59カ店
従業員数 844名
(嘱託・パート・出向者含む)



グループ会社

なんぎんリース株式会社 リース業務
株式会社なんぎんキャピタル 投資事業組合及び投資事業有限責任組合の財産の運営、管理等
南九州サービス株式会社 現金等の輸送・警備業務

株式情報

株式のご案内

| | |
|-----------------|--|
| 上場証券取引所 | 福岡証券取引所(証券コード:8554) |
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 剰余金の配当基準日 | 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日) |
| 定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公示方法 | 電子公告により、当行ホームページ(https://nangin.jp)に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由により公告することができない場合は、日本経済新聞及び鹿児島市において発行する南日本新聞に掲載して行います。 |
| 株主名簿管理人<事務取扱場所> | 〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部 |
| 郵送物送付先 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部 |
| お問い合わせ先 | 電話 0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 平日9時~17時(土・日・祝日除く) |

株主優待制度

当行では、株主の皆さまへの日頃のご支援に感謝するとともに、より多くの皆さまに中長期的に当行株式を保有していただくことを目的とし、「株主優待制度」を設け、「株主優待定期預金」を取扱っております。

| | 対象となる株主さま | 内容 |
|-------------------------------------|--|--|
| 株主優待定期預金 ※「株主優待定期預金ご優待券」が必要となります | 毎年3月31日現在で、当行株式を100株以上保有されている株主ご本人さま(個人・法人) ※保有株式数100株以上1,000株未満の方は、優待券を1枚、1,000株以上の方は2枚贈呈します | 金利:店頭揭示表示 金利+0.3% 金額:優待券1枚につき、10万円以上500万円以下 期間:1年 |



2025年6月発行 南日本銀行 総合企画部
〒892-8611 鹿児島市山下町1番1号
電話(099)226-1111(代)
ホームページ <https://nangin.jp>



MINI DISCLOSURE

2025



南日本銀行ミニディスクロージャー誌

〈第117期営業のご報告〉

2024年4月1日~2025年3月31日

話せるところ 頼れるところ





取締役頭取
田中 暁爾

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
私ども南日本銀行グループは、取引先事業者に対して迅速な資金繰り支援を行うとともに、WIN-WINネット業務（新販路開拓支援業務）を中心とした各種支援により、事業者及び個人のお客さまにしっかりと寄り添い、地域経済の活性化に努めてまいります。

変革ステージと位置付けた第1次中期経営計画「インテグリティある組織への変革」は、最終年度を迎えていますが、皆さまからの厚いご支援のもと、順調に進捗しております。

この変革ステージにおいて、将来の成長に向けた重点戦略の一つとして、人事諸制度改革に取り組んでいます。新しい人事制度の枠組みを「TSUNAGU(つなぐ)」と名付け、お客さまの多様なニーズに対応できる「プロの人材」を数多く育成することを目指しております。

また、データ分析やAIを活用できる「データ人材」の育成にも積極的に取り組んでいます。当行の「WIN-WINネット業務」の考え方に、データ分析やAIを取入れ、「WIN-WINネット業務のイノベーション」を進めてまいります。データに基づく説得力のある提案により、お取引先の経営課題に対して、オペレーション改善やコスト削減など、より効果的な支援を実施し、地域のサステナビリティ向上に繋げてまいります。

経営環境は厳しさを増しておりますが、多様化する中小規模事業者の経営課題の解決に向けて力強く支える『地域に責任を持つ“真の金融機関”』として、南日本銀行グループの総力を挙げ、地域の皆さまとともに発展していくために邁進してまいりますので、今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025年6月

第1次中期経営計画(2023年4月~2025年3月)

インテグリティある組織への変革

本計画では、取り巻く経営環境などを踏まえた重要課題に対し、重点戦略として5項目を掲げ、「対話」と「インテグリティ」をドライバーとした役職員参加型で取組むことで、「当行のあるべき姿」の具現化を図っています。

中期経営計画についての詳しい内容は、
当行HPにてご覧いただけます



主要計数KPI

| 主要計数目標 | 2024年度 (実績) | 中計最終年度目標 (2025年度) | 長期経営戦略目標 (2028年度) |
|--------|----------------|----------------------|----------------------|
| コア業務純益 | 27億円 | 28億円 | 35億円 |
| 当期純利益 | 21億円 | 12億円 | 17億円 |
| コアOHR | 77.39% | 77%程度 | 73%程度 |
| 自己資本比率 | 9.49% | 8%台後半 | 9%程度 |

※コアOHR:投信解約益控除後 ※単体ベース

なんぎんインフォメーション

「知的財産活用の支援に関する包括連携協定」の締結

当行は、INPIT鹿児島県知財総合支援窓口との連携強化により、「知的財産」の活用支援や事業者の強みを活用した本業支援・課題解決支援を促進し、コンサルティング機能を強化することで、お客さまの持続的成長及び発展と地域経済活性化に取組んでまいります。



地域の金融リテラシー向上に向けた「金融経済教育」セミナーの開催

当行は、県内の小中高大学の学生や保護者、お取引先事業者の従業員等に向けて、地域経済における金融の役割などについて「金融経済教育」セミナーを開催しています。

これまで開催したセミナーの主な内容については、外部講師を招いた講座や行員が講師となって、金融や資産運用の基礎知識、地域金融機関の役割や銀行業務内容の紹介などを行っています。地域金融機関として、地域の金融リテラシーの向上に向けた取組みを継続し、地域経済の活性化に貢献できるよう積極的な活動を行ってまいります。



【「金融経済教育」セミナーの開催】

「パートナーシップ構築宣言」の制定について

当行は、2025年2月28日に、「パートナーシップ構築宣言」を制定し、公表しました。

この取組みの一環として、価格転嫁に課題を抱える中小規模事業者が取引先との価格交渉に関するノウハウを身に付けることを目的に『中小企業の皆様に役立つ価格交渉講習会』を開催しました。

これからもお取引先をはじめとしたステークホルダーの皆さまと公正・対等なパートナーシップを構築することで、地域経済・地域社会の持続的な成長・発展に貢献し、当行が地域とともに成長し、サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携が図れるよう、役職員一丸となって取組んでまいります。



志布志市くらし応援志券事業における「Payどん」活用について

2025年2月に志布志市が実施した「くらし応援志券」事業に関して、志布志市役所にて合同記者発表を行いました。当行は、「Payどん」を活用して物価高騰の影響を受けている世帯の経済的負担を軽減すると共に、地域の消費喚起・下支えを目的に本事業へ参画しました。

今後も鹿児島市や鹿児島県内自治体とも連携しながら、地元4行庫が協力してデジタル地域振興券事業などに取組むことで、キャッシュレスの一段の普及とともに地域内における資金循環を促進し、地域の更なる経済活性化に取組んでまいります。

